

暑い時期の活動について

近年、夏の暑さが厳しく、子どもが熱中症で亡くなる事故もおきています。

5月頃より毎日のようにテレビでは熱中症のニュースを報道しています。

夏という季節を感じ、しっかりと汗をかいて遊ぶことはとても大切です。一方、お預かりしているお子さんの命を守ることは私たちの第一の責務です。環境省や自治体からは、「暑さ指数 31℃以上は危険であり、外遊びをさせない」（または高温注意報=35℃）という勧告が出ていますが、それ以下の場合の判断においては明確な基準がありません。

しいの木保育園では・・・

*毎日①園庭 ②テラス ③道路 を約 50 cmの高さ（子どもが受ける高さ）で温度と湿度を測定し、暑さ指数を出します。それにより屋外活動（散歩やプールを含む）の中止を判断します。暑さ指数により、短時間（30分以内）の屋外活動なども取り入れながら

中止をしていきます。玄関の掲示板でも活動がわかるようにしていきます。

お子さんの体調に合わせて「今日は屋外活動はさせないで」と保護者の判断もお願いします。朝の天気予報で不安に感じたらお知らせください。

逆に、「今日は風が吹いていたのに屋外活動ができなかったの??」とプールなどもさせて欲しいと感じる保護者の方もいると思いますが、お子さんの命を最優先して活動をしていくことをご了承ください。



歯科健診の結果

6/1 に行われた歯科検診。恐怖心に耐えながら頑張って大きな口を開けることができました。結果は以下です。

虫歯・・・7名

要注意歯・・・2名

歯並びなどの指摘・・・6名 でした。

毎年行われる清水町の「5歳児（年長）

虫歯ゼロ優良施設の結果、ゼロ者率は

9施設中 2位☆☆でした！



園庭が芝生になります。芝生と身体の関係は？

しいの木保育園の園庭が芝生になります。芝生になると何がいいの？健康に何か関わりがあるの？

天然の芝生は・・・

*芝生自体が 35℃以上になることはない

さらに芝生の葉からの蒸散作用で周辺の温度を下げられます。

*照り返しがない「まぶしさ」がなくなります

*眼病の防止。強風が吹くたびに目に入ってしまう飛砂がなくなります。さらに砂が舞わないので園内の換気のため窓をしっかりと開けられる。

*傷害防止。芝生が緩衝の役割をし怪我が減ります。足の衝撃も和らげます。

*心理生理的效果。運動後の回復が早いという結果も。

意外と健康に関わることがわかりました！楽しみです。



新型コロナウイルス感染症に

「すみませんでした・・・」は不要です！！

しいの木保育園でも新型コロナウイルス感染症の陽性者の連絡がポツポツと出ています。陽性となったお子さんの保護者が口をそろえて「すみません・・・」と言います。

他の子にうつしてしまったかも、と思う気持ちはとてもよくわかります。私でもそうやってしまうかもしれません。お気持ちは十分伝わっています！

しかし、コロナが流行してから言い続けていますが保育園は集団生活であり感染症はたくさんあります。もちろん感染症対策は必要ですし十分注意していますが、防げないこともあります。

健康な人にとっては弱毒化しているオミクロン。保育園での濃厚接触者の特定も終了している自治体もあります。誰からうつされたなど詮索して批判する人もしいの木保育園にはいないと思いますので、毎日ボードで陽性が出たことも公表しています。

罹ってしまった人はゆっくり休んでください。元気に登園してくれるのを待っています。